

不動明の独白

魑魅と魍魎は、
いつも人間のあいだに
うずくまっている。

私がそれに気がついたのは
だいぶ若い頃だった。

正義を振りかざすひとの顔のほう怖かった。
毒をもつ花のほう美しく見えた。
善と悪の境を決めたのは
いったい誰なんだろう。

人はなぜ人を殺してはいけないのか。

誰かが何かで言っていた。
殺してご覧なさい。あなたが誰かに殺されるから。

私にはそれが答えには思えなかった。
それはただの言葉遊びにしか思えなかった。

闇にひかれるのは

私だけなのか。

光はいつも私には眩しすぎる。